

「放射線の正しい知識と人体影響に関する研修会」（取手市主催）に参加してきました。

1 日時 平成23年7月9日（土） 18:30～20:30

2 会場 取手市福祉交流センター

3 講師 独立行政法人放射線医学総合研究所放射線防護研究センター  
リスク低減化研究プログラムリーダー  
根井 充 氏

4 参加者 PTA 副会長 熊谷 健二  
PTA 会計 湯原美恵子  
校長 根崎 稔美

5 内容 「正しい放射線知識と放射線が人体に与える影響について」

6 報告（一部のみ）

### （1）線量限度（平常時）

- ア 職業人： 100mSv/5年，50mSv/年
- イ 職業人（女性）： 5mSv/3ヶ月
- ウ 職業人（妊婦腹部）： 2mSv/妊娠期間
- エ 一般公衆： 1mSv/年

### （2）線量低減法

- ・高濃度汚染の場所を知る
- ・それから距離をとる
- ・家の中も高い場所に長時間いない

ア 外からの放射線の防護原則

（ア）離れる （イ）遮る （ウ）時間を短く

イ 体内の線源からの防護

- （ア）規制値を超える食べ物をたべない ※露地ものはできるだけ避ける
- （イ）埃っぽい日にはマスクをする
- （ウ）放出の情報に気をつける
- （エ）土が身体につけばすぐ洗う ※アスファルトの上を歩く

### （3）野菜の放射性物質を減らす方法

- （ア）洗う ～ 放射性物質が10%～90%に低減（条件による）
- （イ）あく抜き（煮沸） ～ 放射性物質が10%～50%に低減（煮汁は捨てる）
- （ウ）野生のものは大量に食べない
- （エ）いろいろな品目，産地のものを食べる（リスクの分散）

（4）放射線医学総合研究所

放射線被曝の健康相談窓口

電話 043-290-4003

